

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 17, No. 1

神奈川県立生命の星・地球博物館

Mar., 2011



ホソミイトンボ

Aciagrion migratum (Selys, 1876)

—分布拡大の最前線—

2006 年 5 月 6 日

神奈川県南足柄市怒田

荻部治紀 撮影

かるべはるき
荻部治紀（学芸員）

近年、昆虫の世界では、南方種の北上事例が相次いで報告されています。

その一つがここに紹介するホソミイトンボです。もともと太平洋側では静岡以西がおもな分布域で、南関東では千葉県南部のみが確実な発生地とされていました。本種は、日本産では3種しかない、成虫で越冬する変わった生態を持っています。移動能力に優れ、北関東まで点々と偶産記録^{ぐうさん}があります。

神奈川県内では、1969年の川崎市の初記録以降、30年近く記録がなかったのですが、1997年に山北町で確認されました。この頃から注意していたと

ころ、2006年に南足柄市で発見することができました。最初のごく少数が見られただけでしたが、2009年頃から爆発的に個体数が増えています。また、愛川町や横浜市でも記録が出ており、今後湘南地域や、三浦半島などに分布を拡大しそうな様相です。お隣の山梨県でも同様に、ほぼ全域に分布を拡大していました。

みなさんのお住まいの場所でも、この種が見られるかもしれません。4月～5月中頃の好天の日に、水辺で青いイトンボを探してみてください。情報をお待ちしています。